関西大学経済・政治研究所
第207回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

朝鮮半島をめぐる経済と政治の情勢は地殻変動の時期にある。韓国と北朝鮮は共に経済の構造調整の時期に入っている。とくに北朝鮮の閉鎖的な独裁体制は中長期的には持続可能ではない。北朝鮮が段階的な経済の改革開放政策に舵を切る、あるいは南北が急激な統合過程に入る場合、北東アジアの経済と政治の状況は大きく変容することになる。朝鮮半島が新たな産業協力の軸となり、日本をはじめ周辺諸国による新たな経済成長を図る跳躍台となり得る。今回は「対外援助」を共通テーマに２つの研究報告をおこなう。

＜朝鮮半島における経済と政治研究班主幹　李　英和＞

日　時：平成 26 年 11 月 19 日(水)13：00～16：10
会　場：りそな銀行大阪本社地下 2 階講堂

（大阪市中央区備後町 2-2-1 地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅 17 番出口より徒歩、北へ約 100m）

【テーマと報告者】

「韓国の対外援助政策：日本との比較から」

朝鮮半島における経済と政治研究班研究員
商学部教授　**小井川広志**

「対北朝鮮人道支援はどうあるべきか
～役立つ支援と有害な支援～」

朝鮮半島における経済と政治研究班委嘱研究員
ジャーナリスト/アジアプレス大阪事務所代表　**石丸 次郎**

◆ 対象者　経営者、企業・行政関係者、社会人
◆ 聴講自由　参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。（定員 200 名）
◆ 連絡先　〒564-8680　吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号
関西大学研究所事務グループ TEL(06)6368-1179／FAX(06)6339-7721
http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/

主　催　関西大学経済・政治研究所
後　援　大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行

関西大学

130 KANSAI UNIVERSITY